

取材先	朗読ハウスもがも家		
企画名	関門コラボ朗読会		
備考	朗読ハウスもがも家 × 表現集団どんがら		
取材日	2022年10月15日(土) 天候[晴れ] [11:00~12:00]	取材地	長府庭園 茶室

レポート

朗読ハウスもがも家と北九州を中心に活動する表現集団どんがらのコラボ朗読会が、秋日和の長府庭園茶室で開催されました。朗読は夏目漱石の短編小説「夢十夜」。こんな夢を見た…から始まる第一夜から第十夜までの夢が幻想的に書かれた小説です。

今回のコラボは、朗読ハウスもがも家の田丸代表が、カモンFMのパーソナリティで表現集団どんがらでも活動している有光ゆきさんへの企画の紹介がきっかけで実現しました。

茶室の側を流れる小川の水音や小鳥のさえずりが聞こえる中、静かに朗読が始まり庭園の雰囲気と相まって物語に引き込まれていきました。朗読は5名が交代で読み、最後にそれぞれが今、気になっている物語や詩を紹介しました。

田丸代表は、縁のある下関在住の全盲女性、新納 茜(にいのあかね)さんの詩集を紹介しました。会場にご両親と来ていた新納さんに、田丸代表が用意した1から7までの番号を付けた詩に「どの番号がいい？」と尋ね、1と5と7と答えましたが、もちろん新納さんや会場の参加者も番号の詩は分かっていません。選んだ作品は、『今、生きているということ』『あかねぞら』『Go Simple is Best』で、この詩を朗読し紹介しました。

田丸代表は、関門コラボは初めての試みで、会場の茶室や演目は大人向けの文学作品と、何もかも初めて尽くしでとっても新鮮だったと話されました。

朗読ハウスもがも家の今後の予定は、11月19日(土)に、センターで行われる「キャンドルナイト」に出演予定です。19時開演で、1000個のキャンドルの灯りと暗闇の朗読会を楽しみにぜひお越しください。

状況写真



カモンFM
パーソナリティ
有光ゆきさん



表現集団どんがら
古賀代表

新納 茜さん



朗読
ハウスもがも家
田丸代表

